京城新聞

◉慶尙南道 農商狀況（六）

三嘉

晉州へ七里、陜川へ五里

●韓人戸口 邑内四百八十六戸二千百八拾二人

日本人五戸内官吏（巡査、郵便所長事務官）三戸雜貨商二戸あり

▲作柄 畑物は多少の風害を受けたるも水田は雨量十分なりしため其生育頗る良好にして近來無比の豐作を稱せらる然れども當地方は田畑共に其産物は只當地方の需要に應ずるに過ぎず他方に搬出せらるゝもの稀なり而して當地の生産物は紙、麻、蜂蜜、等にして就中紙及麻の他地方へ輸送さるゝもの盛なり

▲商況 本來此地方は附近騷擾のため一時商況の萎靡せんかの憂ありしも其後甚だしき騷動なく今や米作は近年無比の豐登を見に至りしかば人氣自然に良好にて追々商況は活氣を呈するに至るなるべし目下輸入品賣行の良好なるは金巾マッチ石油紡績糸等也

▲通貨 市中少數取引の外新貨の流通不良なり一般に葉錢のみを使用す

▲人氣 邑内にては日本人に對し別段異狀なきも邑外殊に居昌、安義、咸陽、山淸、丹城、晉州等の各郡に面せる地方には時々暴徒の出沒せるあり又本郡中當地より西北方五里の古縣面附近一体に暴徒に通せるやの疑あり人心甚だ險惡なれは目下守備隊を分駐し警戒を嚴にせるありて一般に形勢不穩行通甚だ危險なり目下當地晉州間及當地陜川間の郵便には一名の護衞兵を附せり

●殖民地の貿易策（四）

法學士 山内正瞭

蓋し殖民地が實際貿易取引を行ふ處は、多く其の領域外にして自國の法規を以つて之れに干與するを得ざるべければなり然るに一旦内地本位政策に依り、貿易上、其の殖民地と親密を保つ如くしたらんには斯くの如き弊害は、絶對に之れを避け得可きなり故に、余輩は現在にありて、其の殖民地の貿易に對し、内地本位政策、即ち干渉主義を採るの遙かに他に優れるを信ずるものなり世界各國が、競ふて保護主義を奉ずる傾きある、偶然にあらずと謂ふ可し、要するに、余輩の希望は、彼の關税同盟なるものを、本國と各殖民地との間に結んで各地各樣に存する一切の關税を撤去し、而して其の統一したる關税を以つて外部に對す可しといふにあり、斯くて、始めて國庫收入も漸やく増すを得べきなり、此の間、殖民地は外國に對する外部關税と本國に對する内部關税の二樣の税則を用ひざるべからざるは勿論と謂ふ可し、尙殖民地貿易策に關し管見なきにしもあらず幸に他日又本紙の餘白を借り高覽の榮を得るの日あらんことを希ふ、

俳句

○吟光小會集

辻室の屋根も落ちけり冬木立　糸三
漁火の點々として千鳥かな　嗣
漁家十戸漁火に集ふ千鳥かな　白声
引潮に磯離しさて千鳥なく　同
猿橋の下や澄み切る秋の水　同
三日月の掛かりて高き冬木哉　空吏
人去つて千鳥の濱と申しけり　同
小夜千鳥啼くや浦曲の貝灯　冠山
あばら家の二軒殘るや冬木立　同
山路のうねも曲ねりや冬木立　遡眉
刈あとに雜魚も住けり秋の水　同

（六十二）

河合柳葉

御室侯爵の一行は、途中靜岡で一泊して其翌日無事に東京なる本邸に歸邸した、永らく正門は閉ぢられたまゝであつたのが今日よりは開け放されて、靜かな侯爵邸は俄に賑しくなつた。

侯爵の歸邸と同時に屋敷中の人々の一の問題となつたのは君子であつた、うれも無理からぬことで、屋敷に乗込むだ時の君子の容子を摘んで述べやうなら、頭は學生風の前髪をフックラと取つた束髪で、造花の白薔薇の簪を挿して、寶石を飾つた鼈甲の櫛を飾り、鳩羽色の紹縮緬の五ツ紋付に、草色に金糸で模樣を繍出した單繻子の帯を整然と結び、小さき金時計の鎖を首からグラリと下げて、足には三枚製の草履を穿き、指には眩きばかり金剛石の輝く指輪を箝め只さへ美くしき顔を淡注と化粧して、如何にも上流社會の令嬢の如く淑に見れたから忽ち屋敷中の取沙汰となつたのである。

多くの召使などが囁き合ふも道理で、兼てから通知を受けて承知して居る未亡人三輪子ですらも、君子の容子には一驚を喫して何は扨て置き侯爵を自分の室に招いて、尋ねらるゝのであつた。

「病氣がスッカリ全快爲たそうで、何より結構だつたね。もう些とも何とも無くなつたのかね。」

「はい、もう何を食べても少しも障はございません、私も斯う早く治らうとは思はなかつたのですが、養生の爲方も宜かつたものと見えまして、計らず早く全快致しました、しかし後が大切ですから、まだ食物なども非常に注意して居りましたので不在中何彼と御心配でございましたでせう。」

「留守中は總て濱川に任せて置いたから、何でもなかつたが、まあ／＼お前さんさへ全快すりや這麼喜ばしい事はありません。時に早速だがお前に聞いて見たいのは連れて歸つた彼の女だが、彼れは一体奈何した女なんだい、私はお前さんからの手紙を見て女中を連れて歸るのだと思つて、女中なら召抱した方が宜いと云つて遣つたのだが、何だか見れば立派な容子をして、何處かの令嬢さんのやうな風だが、如何云ふ事で連れて歸つたのだ。」

「詳しい話は大山から申上げる筈ですから、どうぞ彼からお聞きを願ひますが、あれは宇治の雅敦が俳句を教つてる宗匠の妹で、爵は幕臣だそうです、養生中中村樓の女中はどうも總てが不作法で仕方がありませんから宗匠に頼むで病中の世話を爲て貰つたのです、彼女が快く看護を爲て下れたので私の病氣も異樣斯う早く治つたのでございます、本人も東京に行つて私の側に置いて欲しいと頼みます、私も大層氣に入りましたから、一生私の側に置かうと思つて連れて歸りました。」

「そんな事を云つても、事情に依つては然ういふ理にも行かない事もあるから、ではマア委細の話は大山から聞いた上に話し爲ませう、まづそれまでは私は那の女に會はない事に爲ませう。」

「大山からお聞きになつても、大体は只今お話爲た事を詳しく申すに止まるのですそれより早く一度會つてやつて下さいな。」

「それにしてからが、大山から話を聞いた上に爲ませう。」



京城新聞

漁業法の發布

昨日の官報を以て韓國漁業法を發布せらる之に依りて從來の日韓通漁條約は廢せられ此法律は日韓兩國民に適用せらるゝ事となれり今後此法律の執行によりて從來の如く漁場及び海草採取の紛爭は跡を絕つに至るべし而して更に喜ぶべきは第五條に規定せられし相續讓渡共有擔保及貸付を爲し得る事となり從來此規定なきが爲に小資本の漁業者は之に依りて他より資本の融通をなす能はざる爲に意の如く經營する能はざりしが今後は此憂を除きて充分に經營することを得るに至るべし韓半島の沿岸には比較的多くの魚族及び海藻繁殖せるも其種類によりて濫獲の爲に年々減少するもの少からず北海道及樺太沿岸に於ける鰊鮭鱒の如き年々繁殖の減少を來たせるが爲に當業者は之が養殖に就き苦心せり韓國の如きも今よりして茲に注意を拂はざれば早晚此結果を見るに至るべし殊に北韓に於ける明太魚の如き江原沿岸に於ける鰯魚の如き群族は稍もすれば此[illegible]を見るを以て之を捕獲すると共に保護するの途を講ずるは決して杞憂とのみ云ふ可らず今回の漁業法には養殖の意も含まれ居れば此等の方法も亦講せらるべしと信ず而して第二條に依りて大漁業と小漁業とを區別せられたるも之が許可手續に就ては一樣なるが如し余輩は小漁業に就ては繁冗なる手續に困らずして極て簡易に許可鑑札を下付するを望むと雖大漁業に至りては之を入札に附することの比較的弊害少く公平なるべきを信ず而して更に當局者に望む所は從來に於ける實際に就て見るに其漁場を許可せられたる名義人は之を一の權利として他に貸付て其間に多大の暴利を貪るの輩少しとせず之れ等は當局者が能く注意して實際の漁業者に許可するの方針を取るべきなり然らざれば一種の虛業家に利益を壟斷せしむるの結果に陷入るべし第十六條に規定せらるる所に據れば從來許可せられたる漁場は一個年以內に更に第二條の規定によりて許可の請願をなすべきものとせらる從來義親王の領域とか或は英親王の領域とかにて許可せられたるもの等しく同樣に取扱はるべきものならんと雖も此等の明文なき爲に多少世人の疑惑あるべきも要するに此法令の發布せられたる以上は無論此法に準據すべきは當然なるべし從來斯る漁場は或る者が一手に引受け小區分して之を貸付し暴利を貪り居り從て弊害も少からざりしが此等は無論此法令に據りて消滅するものならん此法令發布の爲に虛業家には多少恐慌あるべきも一般着實の漁業者は大に便宜を得べし然れども法の精神を勵行せざるに於ては效力なし之が取締に就て充分に警察力を使用するの必要あるべし余輩は此法令を施行する上に於て其精神を嚴勵せらるゝことを當局に望まざるを得ず大漁業に就て建網差網發網追漁鯨漁等の許可に就ては意見なきに非ざるも更に機會を俟て詳論する所あるべきなり

東京電報

▲明年度豫算

明年度豫算公表せらる即ち左の加し

歲入五億一千七百十二萬圓
內經常部 四億六千七百三十八萬圓
臨時部 四千九百七十四万圓
歲出五億一千七百十二万圓
內經常部 四億五百拾六万圓
臨時部 一億一千九十六萬圓

此れを本年度豫算に比すれば歲入經常部に於て二千八百七十万圓を增し臨時部に於て九千四百三十万圓を減じ歲出經常部に於て九百八十五万圓を增し臨時部にて四千七百五十五萬圓を減ず

▲拓殖株の好況

今日正午までの全國及び韓國よりの拓殖株申込は百五十万餘株にして約三十倍は確なり

▲李容九招待會

李容九の招待會は各政黨實業家等多數來會あり箕浦勝人開會の辭を述べ李容九は左の意味の漢文を朗讀せり

日韓の關係に就ては將來猶多少の困難を見るべきも大体は必ず融和すべきを疑はずと

終つて杉田定一の發聲にて兩國の万歲を三唱し解散せり

▲本月上旬の貿易

本月上旬の貿易は四百六十餘萬圓の輸入超過なり(以上十一日發)

雜報

●韓皇室拓殖應募株

目下募集中なる東洋拓殖會社株式へ韓國皇室の申込株は左の如く引受ることゝなれり但し內殿院卿の名義を以て昌德宮は千株德壽宮は千株都合二千株なり

●伊國皇帝御誕辰

十一日は伊太利國皇帝陛下御誕辰に相當せるを以て曾禰副統監代理として佐竹秘書官石塚總務長官鍋島外務部長國分秘書官は敬意を表する爲め同國領事館を訪問せられ其他韓國大官各國領事等も訪問せり

●漁業法の細則發布

漁業法は昨報の如く本日の官報を以て公布せられたるが同法施行細則は近々農商工部令を以て發布せらるゝ筈にして同法の施行は明春よりすべしといふ

●東拓經營方針

東洋拓殖會社創立に關係ある某大臣は曰く當初の目的は本年七八月頃に會社の創立を了り今頃は事業に着手せん豫定なりしも事情ありて今日まで遷延せりされば遲くも本年中に創立を完成し明年一月より事業に着手せん方針なれば株式募集終了せば速かに第一回の拂込を了せん筈なり而して事業着手順序に就ては韓國側の希望もあれば之を參酌し會社に於て決定すべし而して內地よりの移住民に就ては十分に人物を精撰する筈にて刑餘のもの〻如きは勿論懶惰無賴の徒の如きは斷然移住を禁止すべし其の人物精撰法は會社に於て判定し移住者所管の郡區役所警察署に依賴して其の身分品行等を調査する事等なるべし此等は將來の移住民に對する撰擇法なるが現に韓國に出稼し居るものにして拓殖會社の下に移住民たらんと希望するものも亦此の規定に準じ資格なきものは採用せざるのみならず若し會社の事業を妨害する如き事あらば直に相當の處分を爲すこと〻なるべし又會社役人に於ても韓國の土地に埋骨の決心あるものにして身體の強健なるものにあらざれば採用せざる方針なり是れ韓國の拓殖事業は一時的營利的事業にあらず永久的にして且日韓兩國の利益發展を期するものなるを以て十分其の基礎を鞏固にし永遠の計を定めざるべからざるが故なり

●日本に於ける拓殖株

日本に於ける拓殖會社株式申込は合計九萬一千四百五十九株なりと其の筋へ電報ありたり但し創立事務所へ報告ありしもの〻合計にして果して此の數を以て全部となすや否や不明なり

●拓殖株の好況

東洋拓殖株式會社株式募集は昨日を以て締切りたるが豫想外の盛況にて農商工部の調査によれば平壤大邱釜山及び北韓方面は未だ報告に接せざるも其の他は日韓人合計六万九千五百八十四株として內五萬九千五百六十九株は京城各銀行に於て取扱ひたるものなりと

●東京拓殖株

東京に於ける拓殖會社株式申込は四萬六千三百五十三累計九萬千四百五十九なり

●副統監は歸朝せず

伊藤統監は曾禰副統監が馬券禁止の善後策を講ぜん爲め遠からず歸朝すべしとの風說を否認し馬券の件は曾禰氏歸朝したりとて手の付けやうなかるべしと言明せり

●湖南鐵道株募集

近時俞吉濬、張博の兩氏等主となり鳥致院より群山に通ずる鐵道を敷設すると稱し未だ當局の承認を得ざる湖南鐵道會社株式の募集に着手し全羅南北道の觀察使を說きて郡守に命令せしめ殆んど强制的に管內人民をして應募をなさしめ居る由なるも元來同會社は未だ當局の認可を經ざる不確實のものにして關係者がためにする所ありて運動せるもの〻如く殊に行政官が職權を濫用して其の應募を强制的に勸誘するが如きは穩かならざるを以て內部大臣は觀察使に對し此等の事に關係すべからざる旨內訓を發したりと云ふ

●三浪津農產品評會

韓國中央農會三浪津支會の主催に係る三浪津農產物品評會は農商工部保護の下に本月六日より八日迄同地に開催せられたるが同支會の熱心なる勸誘に依り日韓人より穀物類、蔬菜類、特用作物、蠶生糸、家禽、苗木類、果實等の出品八百三十七點あり八日午後受賞者二百七十點に對する賞品授與式を擧行し農商工部より山崎技手出張し中央農會副會長代理豐永博士龜山釜山理事官釜山商業會議所員同地新聞記者其の他地方の有志者日韓出品人等百五十餘名の出席あり地方未曾有の盛會を極めたり始め農會支會が出品の勸誘をなしたる際韓人等は日本人が農產物を詐取するものならんなど誤解したるもの大多數なる模樣にて勸誘上大に困難を感じたる由なるも開會の後特に成績良好なるもの〻賞品を授與する際の如きは非常なる滿足を表し農業獎勵上多大の效果を收めたりと云ふ

●江華島尙不穩

過日江華島暴徒蜂起の際狀況視察の爲め同島に急行したる宮楯仁川署長及二宮警部の一行は去る九日夕歸任したるが同氏等の語る所に由れば未だ全く靜穩に復したりと云ふ能はざるとなり

●支那海賊

去る四日斗入浦沖合に碇泊せる韓船支那海賊七名侵入し船員を縛し金錢物品を强奪せしとの詳報を聞くに該船は二百七十石積にして木材三百八十速を積み八日引潮に義州を出發し鎭南浦へ航行の途中同夜八時半斗入浦の沖合に假泊し翌滿潮を待て出航中同午後十一時頃一名の支那人船內に侵入し來り出金を强請するより乘組員の貯へなきを答へければ七名の海賊一時に來襲し船員の總てを縛し海中に投し隈なく搜索中韓人は海中より救助の悲鳴を上げ助けを呼びし際折よく龍岩浦より出漁せる日本船歸途此聲を聞付け直に其方向に漕付け海中の二名を救助して斗入浦に上陸せしめ種々看護の末一名は死亡し一名は蘇生せり之より先き海賊は船內隈なく搜索せしも漁船の燈火の近くを恐れ倉皇大東溝方面へ逃走せるを以て同地警察は憲兵と協力し海岸を警戒し且つ嚴重搜索中なりと云ふ

●捕鯨會社合同成行

長崎捕鯨會社を始め全國十一捕鯨會社の合同問題に關しては監督官廳は固り其の成立を期待し各會社も亦其の得策なるを覺悟しつゝあるも如何せん各會社の株式價格に關する協定頗る困難にして未だ捗々しき進捗を見るに至らざるが協約調停委員たる牧朴眞氏は爾來熱心に調査奔走中にて此の頃に至り各會社現在の收支計算並に合同後に於ける收支計算其の他株式評價等に關し審查したる結果一の具體的成案を得たる由にて一兩日中之を各會社に配布し若し其の意見が合致若くは近邇するに於ては本月下旬を期して各重役及び各關係者等の會合を催し夫々決定する筈なりと右株式標準價格に關し聞く所に據れば長崎捕鯨、東洋漁業等は韓國沿海の漁業權を有するのみならず事業の現狀よりして必ず拂込以上に上るべく其の他は大同小異にて中には拂込以下に下るものも是有るべしと

●民團協議會

四十二年度豫算編成の方針に付ては過般來民團當局者に於て調查中の由なりしが大体の計畫に付略決定したるを以て本月二十四五日民會の協議會を開く筈なりと云ふ

●病院問題

既報の如く仁川病院刷新に關する相談委員會は昨日午後一時より同民團役所樓上に於いて開催せられたるが審議事項は無論同病院の經費節減にありて現に一箇年間の經營に要する[illegible]圓(民團補助額[illegible]圓を含む)なるを或は二万二千九百圓に削減せらるゝに至るやも計られずと傳ふるものあり

●蒸汽喞筒の回送

仁川民團に設置せらるべき蒸汽喞筒は既に東京に於いて其の製造を終り目下警視廳に於て檢査中なりと云へば遲くも本月中までには仁川に到着すべしと

●仁川府尹の訓諭

仁川府尹金潤昌氏は過日來同地方にて勵行中なる斷髮令が商業上多大の影響あるを以て一昨日同府內に於ける各面長を招集して韓民一般に對して古來より傳習せる風俗をまで破りて斷髮令を勵行する時は意外なる邊に反動を來すやも計られざれば宜ろしく手加減を加ねて施行すべき旨訓諭したりと

●茂山の牛疫

咸鏡北道茂山地方にては本年九月三日以來牛疫發生し少數の斃牛ありしを以て農商工部より獸醫を派遣し豫防に從事せしめしを以て甚しき流行を來さゞりしに本月初旬に至り再び蔓延の兆あり目下血淸注射及び消毒法を執行し極力豫防に從事せり此の牛疫系統は間島より來りしものにして同島には昨年來牛疫常に流行し昨年四月以後本年七八月頃迄に約千七八百頭の斃牛あり目下尙流行しつゝありといふ

●炭疽の接種施行

慶尙南道靈山郡(馬山浦附近)には本年六月以來炭疽流行し多數の斃牛を出せしを以て農商工部に於ては此れが豫防として本月二日同地方に技師を派遣し豫防接種を施行せしが尙來る十五日より第二回の接種を行ふ筈なりと云ふ因みに韓國に於ては炭疽の豫防接種は今回を以て嚆矢とし將來益々此の方法を施行して炭疽の豫防を完全にすべしと

●蔘病に關する講演

度支部の囑託によりて來韓し人蔘根腐病に關し熱心研究中なりし農商務省農事試驗場技師上田農學士は本月十二日午後四時より農商工部に於て右研究の結果を講演し此れを世間に公表すと

●駐韓軍動蹟調查

韓國暴徒討伐に關する軍隊の動蹟調查打合せの爲め在韓各隊の副官本日軍司令部に集合會議を開けり

●岸營業課長の調查

統監府鐵道管理局運輸部營業課長岸利信氏は昨日仁川商業會議所を訪問し交通に關する諸種の調查をなしたりと

●第五十一聯隊四日市着

先日歸還せる步兵第五十一聯隊は一名の患者を似島に殘置せし外異狀なく廣東丸に搭乘し十日無事四日市に着し上陸を了したりと

●若林總監の披露宴

若林警視總監は昨十日午後五時より在京日本各新聞社特派員並に各通信社通信員一同を花月樓に招待し新任披露の宴を張れり

●運輸同盟總會

韓國鐵道運輸同盟會總會は去る八日龍山八景園に於いて開催さるゝ筈なりしも京釜京義兩線に派遣せられたる會員募集員の歸來遲延したる爲め延期せられたるが數日前右募集員は全部歸京し略總會の準備整ひたるを以て來る廿日頃龍山に於いて總會を開かるべしと因に目下の所會員は七十餘名にして總會出席者の豫定は約三十名なるべしと

●木內次官平壤行

木內農商工部次官は平壤礦業事務所視察のため明日出發の筈にて往復約一週間の豫定なりと

●永濵總長

は昨十一日は伊太利國皇帝陛下の御誕生日に付祝意を表する爲め同國領事館を訪問せり

●民長の龍山出張

熊谷民長は十一日軍用地借地用の經營其他に關し打合の爲め駐箚軍司令部を訪問せり

●加藤本四郎氏

元仁川領事にして後奉天總領事となりたる同氏は目下不治の病にて引籠中なりとの事なるが此事を聞きたる在京仁同氏の友人等は氏に見舞を爲さんと目下相談中なり

●信夫理事官歸仁

過日平壤鎭南浦地方視察の途に上りたる信夫仁川理事官は本日午後歸任する旨其筋に通報ありたりと

●多田千春氏

同氏は數前朝鮮日々新聞社を辭し實業に就きたり

●見本銀行劵の盜難

洪州財務署に於て揭示ありし第一銀行新銀劵過日何物にか竊取せられ目下搜查中なりと

●憲兵隊の會計檢查

軍司令部遠藤經理部長は十一日憲兵隊本部經理事務の檢查を行へり

●敍任辭令

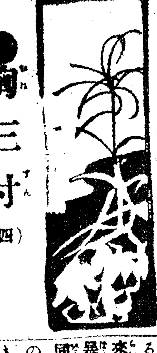
任裁判所書記敍判任官四等 山內喬壽
一丸秀丸
敍任法部主事 裁判所書記 山內喬壽
法部主事 韓俊錫
依願免本官 法部主事 梁錫振
補京城地方裁判所書記給七級俸 同 裁判所書記 山內喬壽
同 一丸秀丸
官立漢城外國語學校教授 朴宗烈
給七級俸
願依免本官 勸業模範場技手 菊池爲行

公人私人

▲土方積(陸軍步兵中尉)十日入城天眞樓
▲河野生次郎(同)同上
▲保田楠三(同)同上
▲大久保幾郎(外務書記生)十日平壤へ向け出發

近事片々

▲李容九不相變日本に於てはモテ居る鹽梅矢張り世の中は目明千人盲目千人なり
▲一廉の志士氣取りにて各所に招れて氣焰を吐く處韓人一流の策士然たる面影あり
▲悲歌慷慨の口調は恰も南阿のクールゲル比島のアギナルト氣取りテモ世の中廣し
▲一進會の盛返し策としては此途に出るの外なし併し一進會の運命は大抵定まれる也
▲韓紙帝國新聞宋秉畯が伊藤公に擯斥せらると揭げ亦宋氏首相たらんとの說を揭ぐ
▲一進會の機關紙國民新報之を前後矛盾として詰責す併し宋氏も隨分察くなつた者
▲日露戰役當時一通譯たりし野田君が今や內閣首相に擬せらるゝ迄になれるは豪し
▲宋氏も一度は總理となりて自己の抱負を實行して見たからん伊公歸任後成行如何
▲伊公歸任して宋氏愈々信任厚きか風說の如く是迄の如くならざるかサテ如何にや
▲伊公日韓同志會に招れて例によりて韓國經營の大抱負を述べらる雄氣の程恐入る
▲乃公赴任以來韓國をして日本の外他に賴べきものなきを知らしめたる一事のみと
▲成程然らむ韓人が全く斯迄に奧妙に日本に賴る外なしと歸服せば與に以て結構也
▲處で韓人等公の前に出でゝは或は平身低頭信賴の態度を爲すも腹では反對し居る
▲面從腹背とは此邪でムる伊公は唯面從の部分耳を觀察せるに過ぎずとは或人の言
▲最後公は自分は適當の時期に於て適材に現任務を讓り韓國保護の大成を期すると
▲是に依れば公も早晚適材に任務を讓る考の如し適當の時期とは何時の頃なるべき
▲乃公に非ざればの御考は最早消へ去りたるものか公も亦意氣衰へたるに非ざるが
▲夫に付けても今回の歸任には何等か矚目するに足る効蹟を擧げ得らるべきか否や
▲後藤遞相も電話度數制に就ては大に苦まれ居るもの〻如し一刀兩斷の策に出でざる
▲桂首相も之に就ては後藤遞相に對して面白からざる風ありと人氣役者如何でムる
▲藩閥の蠻勇も官僚の跋扈に避易せしか何ぞ例の大鐵槌を降して官僚を退治せざる
▲印度の大洪水は隨分悲酸を極めたるもの〻如し死者二萬ありと云ふも察せらる
▲[illegible] 以來久しく沈滯せる銅が俄に暴騰し來る是何等の原因なるか兎も角喜ぶべし



●胸三寸 (四)

男は無遠慮に胡坐を組きながら女に向ひ「相談といふなア外でもチーがヨ、ザックバランにいふと俺らア何う考へて見ても手前と性が合はねイんだ、此所へ來てから彼れ是れ半年、閻魔さまの番人ぢやアあるめいし、俺らア唯の一度でも手前が笑つた面を見た事ア無いんだマーそりアソレとしてさ、實の所ア手前に貸した百五十兩の金だ、俺れも近頃のやうに斯うアブレつゞきぢやア全く遣り切れチーといッて其の金を手前に[illegible]返へして[illegible]れと言つた所で手前に金のある筈はなしヨ……相談といふなア外でもチーがソコだ、斯ういつたら大概悟りが付いたらうな……」

と女の返事を促がせしが、女は再前より斯うと思ひそつけ、しばしの間襟に手を差し入れて下俯き何んと返事を仕て宜きやら兎角ふ思ひ煩ひ居りしが、軈て意を決して微かに口を開き

「ソリヤア、お前さんより申さるゝ迄もなく、妾しだッて其の金については明け暮れ思はないではないけ、併し妾しだッて今ぢや他人ぢやなし、斯うと契ッた立派な女房ぢやないか、縱し女房でないにした所で、まる〳〵半年の間妾しを慰んで置きながら、今更ら以前の借金を返へせとは胴慾な言葉、併し妾しも女の端し呉れ御案じなさるな、身を賣つても百五十圓のお金立派にお返し申します……」

ときッパリと言ひ放ち、左の手をば袖に入れて腰に當てゝツンと濟ました姿、早や捨鉢の氣味とも思はれたり、

男は意外に氣強き女の言葉に、一時は氣を呑まれしが、怒ちにして元の吾に返へり「コウ、お君、大分理詰で出でなすッたナ、ダガ、俺らア今更女らしく、ツベコベ言はチー、お前が其の氣になつて呉れりや俺らアモウソレで結構だ、所で話しやア手ッ取り早いが宜いかな、俺らア實の所今日手前をば賣り込む所をチャンと極めて來たんだ……」

女は此の言葉を聞きて、男の不法さ加減に呆れ果てしが、今更ら此のやうな非道の道理も知らぬ男に逆らへばとて詮方なき譯と男の約束をせしがまゝに任せ、軈て愛静閣切てつの色の巷なる二長町の第一勢州樓より夕霧と名乗りて呉越の客を送り迎へする身とはなりたり

●邦人負傷す

……十五名の暴徒に襲はる……

江華島江華府西門外の某韓人家屋に宿泊せる邦人暴職大坪秀吉と云ふは暴徒蜂起以來同所に潜伏し居たるが一昨日午前十時頃暴徒の殘類十四五名が守備隊の鋭鋒を避け同西門内より逃げんとする際端なくも秀吉の潜伏し居るを發見したれば何かは以て堪まるべき十四五名の暴徒は秀吉の兩手を捕わ有無を云はさず引き出し滅多打ちにせんとしたるが秀吉も頭を垂れて彼れ等のなすが儘に捨て置かれず暫らく十四五人を相手に闘ひたるも多勢に無勢暴徒は遂に秀吉を縛し裏手の田甫にて銃丸の的となし亂射したる上雲霞と何れにか姿を消したる跡に秀吉は背部に一箇所、股間に二箇所の銃創を蒙り虫の息にて呻き居たりしが恰も好し暴徒の逃げ去りたる後暫らくして附近の村民が通行し秀吉の有樣を見打ら驚き直に手當をなし充分保護を加へ[illegible]たるが目下秀吉は同地淺井病院にて治療を受け居りしも銃創非常に深き爲め或は平癒せざるやも計られずと

●今樣石童丸

……父を慕ふて遙々來る……

霜月の寒む空ドンヨリと掻き曇りて雪哭さへ降り出せし去る八日のたそがれ頭変黄金町通りの往來を行きつ戻りつせる十二三の少女ありけり鳥裝はさして賤くは見ねざれど憂へに曇る顔の色は何うやら身に心配のあるらしく何れは尋ぬる人の此所等あたりにあるならんも何分年端も行かぬ乙女のことゝて斯うと物問ふ勇氣もなく唯ウロ〳〵と軒の標札やら家内の樣子をそれとなく覗き見るのみなりしが軈て思ひ當る家のありやしけん少女は或る家の潜り戸をソット潜り入口の所に佇み二言三言幽かな聲にて「御免なされ〳〵」と言葉を掛けしにやゝありて中より男の聲にて「ハイ何方」と返辭を爲すと間もなくスラリと障子は押し開かれしが兩人は互に顔見合せて吃驚し乙女は突如かまちの所に進み寄りて「アラお父さん」と聲を掛けさも嬉しさうにイソ〳〵と中に入り更に言葉を次ぎて「妾しねお母さんと二人で二三日前京城に參りましたがお母さんは龍山の宿屋に居ります中長の旅路の疲れから病に罹り妾しや悲しくつて」と父の膝に縋り付きし所より察すれば其の男こそ紛れもなく乙女の父とは知られたり

さるにても其の乙女の父といふは名は伊藤商三と呼び日々の稼業は朝市商人なるが此の京城に來りしは昨年の師走にてつゞいて小商人の身の苦しき境遇の何れは胸に一物あるべきなれどそれにしても一年振りにて遙々此の土地迄慕ひ來りし我が子の顔を見ては飛び立つ許りに嬉しく思ふ道理なるに如何なる仔細のあつてにや膝許に取り縋る娘の顔をばまともに見ざるのみか一言の言葉をも掛けず唯腕を組み首を俛垂れ默然として深き思ひに打ち沈みたるぞさても不思議の至りなれ(つゞく)

●玉突界近來の美談

……七百を二度とも一棒……

本月四日五日と神戸ミカドホテルで開催する筈であつた全國球突大會は淡路京の政吉が香港から歸るのを待つ事にし本月廿一日迄延期した此の大會に出席する重な撰手は東京からは田村氏(八百點)を初め鈴木總吉山田浩治、森政吉(以上七百點)臺灣から中村(七百點)九州の友石(七百點)神戸の森田(七百點)大阪の喜吉(七百點)眞鍋(七百點)其他二百點以上の京坂の実手も加はる筈である

右の撰手の中日勝亭の鈴木臺灣の中村等は既に先月から神戸に着し大坂及び神戸で盛んに突いて居る臺灣の中村の如きは無名の撰手であるが其玉の鋭い事は多く他に匹敵を見ぬ本月四日大阪[illegible]館で會を開き中村と鈴木とが初めて手合をした模樣が頗る面白い最初鈴木が七百點を一棒で突切ると次に現はれた中村が又一棒で七百を突切つた之で一等が二人出來た事になつたが一等が二人では困るから初め突切つた鈴木を一等にしやうと中村が主張する又他の人は同じ突切るに前後の差別はない宜しく二人をして決戰せしむるが可からうと云ひ遂に決戰になつたが鈴木は再び七百點を一棒に突切つた茲で中村が突切れば三度び決戰になる中村も去る者だから遂に一棒で六百九十八點迄取り殘り二つを敬意を表してミスで外づしたは玉突界近來の美談といふべきである

●地方醫者の不親切

……濫りに藥價を貪る……

比較的發達し居れる土地には斯かることなきも邊陬なる韓內地に入り込み居れる醫者の中には唯々自己の利慾にのみ眼がくれて聊かも患者のことは心に留めず不親切不人情なる振舞を敢て爲すもの少なからざるとこは從來屢々聞知する所なるが現に近頃の事在晉州某氏の如きは此等不親切不人情極まる或る醫者の爲めに苦められたる事實あり今同人の語る所に依れば「私は病魔に襲れ晉州で苦むで居る某と云ふものです未開地に於ける醫藥の不充分の爲め往々にして新來患者が私のやうな憂目を見るでせう私は今より數十日前當地に來り間もなく腸窒扶斯に罹りました依て先輩の山根さんは早速私を他に隔離をして而して醫師の診斷を乞ふ事となり醫者を求めました所森岡と云ふがあるので之を迎へました件の醫者殿來診したが帽を冠りたるまゝ、ウムヨシ〳〵で頷く計りで診察もドウや、心元なく感じましたそれから投藥を乞ふ事となりました所何や彼で一日四圓五十錢かゝります其診察毎に調劑を徵收せらるゝ急がし紛れに藥價を持て行く事を忘れると藥を渡してくれぬ一時も早く服藥の必要があつても止むを得ないから藥價の代金を取りに歸ると云ふ次第、此んな調子にては晉州に於ける病人は如何にして養生するや新來者の著しく感ずる所です右の次第ですから晉州警察署に患者が心安く治療の出來る方法を御願ひしました所警察署にても私共に同情せられて警察醫の篠原氏と云ふに治療をさせて下さる事となりました前の森岡氏の治療費に比べると三分の一で足ります以上の事實を述べて一般の參考に供し晉州に完全に患者の治療を受くる醫院の新設を希望します云々

●藝者にも這んな女がある

泥水稼業の藝者だからとて却々馬鹿には出來ないけれどこれは又朝鮮三界迄出稼ぎして居る藝者としては珍らしき方なり所は大師にて此の間迄同地の東山樓より左り褄を取り居り嫋名花柳界に隱れなき勝助(二十)といふ藝者なるが同人は引く手數多の其の中で當時南門外に雜貨商を手廣く營み居りたる江上達といふ男に受出されて人々に羨まれる身の上になつたのも夢の間にて盈れば虧ぐる世の習ひ夫達はいつしか人の忌み嫌ふ病に取付かれたので今までの如く雜貨商もなし兼ねて南門外の店を疊み遂城山の下に細やかなる家を借りてそこに引移つたのは今年の夏頃であつたが引續く夫の病氣に多くもあらぬ家財も賣り飛ばしてやうやく其日その日の烟を立てゝゐるので東山樓に居た昔を知つてゐるものは國許からの夫婦と云ふではなしホンの朝鮮で結んだ内緣の夫婦なればそんなに義理立をする事もいらねば何こか外に方法はなきものかお前の心さへ入代へれば氣樂に其日が送れるだらうと宜からぬことを入智慧する人々の言葉には耳をも貸さず一面には起居さへ不自由なる夫の看病に浮身をやつし一面には近所の人の畑を借入れて女の纎弱い手一つにて野菜物を作つて霜降る朝も北風すさぶ夕も身を粉に碎いて「野菜はよろし野菜はいかゞ」と賣り歩くので同人の貞節を聞き知れる西南門外の人々は其の來るのを待ち受けて買つてやるこの澆世にも珍らしき婦なるかな

●韓人學生の面汚し

西部齋洞日語學校生徒朴仁和(二十)劉寬植(十八)の兩人は平素より仲睦ましくまるで血肉を分けた兄弟の如くなるが何方等も金滿家の伜丈けに常に少なからぬ小遣錢を持ち居り從つて二キビ盛りのこととて酒色の道樂に耽り大事な學課はソッチ除けにして今日は彼所の酒幕明日は此所の蝎甫屋と袂を連ねて通ふ普からぬことのみ稽古しつゝありしが一昨日は兩人のもの何所で飲んだか非常に酩酊し路洞の蝎甫屋を素見し回りしが其際劉が朴の所持せる銀製のステッキを借りさも嬉らさうに弄びて蝎甫に見せ散らかし居る中如何なる機からかは知らねども其のステッキの握り柄が銀であつた筈なのが俄かに地金を現はして異鈴と變色せしより朴は非常に立腹し劉をば取つて伏せ打ち擲る蹴るといふ騷ぎを演ぜしが折柄日本人某なるものが此有樣を見て氣の毒に思ひ取り鎭めたりしがナンボ朝鮮人とはいへ學生の身として怪しからぬ振舞といふべし

●小學校種痘日割

京城各學校種痘日割は左の如し

第一小學校十一十二日、第二小學校十二十三日、高等女學校十三日、第一分校庚子幼稚園十四日、

●冷水でブル〳〵

一昨日の午後旭町一丁目大橋某の大工工場にて雇はれて居る一名のヨボが大工の長井昌作同入江次郎左官の大橋彦作三名より冷水を頭の眞先より浴せられましたと南部署へ訴出しより巡査出張して取調見たる所事實は左樣でなくヨボがバケツに躓づいて濡鼠となつたといふ中立にて其場は無事に納まりしと云ふ

●無錢飲食

住所不定愛媛縣平民白石菊之助(三四)といふは一昨日午後八時頃南大門通り花の家へ押し上り酌婦を相手に酒十六本と肴四皿を通し散々飲食をし其の勘定が五圓餘となりしが懷中無一物なるより其の筋へ突き出されたり此者は前にも無錢飲食を爲せしことある由

●阿片を喫す

南部棗洞統戸不詳盧光景(三五)は一昨日午後九時頃西部貞洞の某韓人宅にて横臥し阿片を吸ひ居る處を西部警察署の刑事に認められ昨日裁判所へ送らる

●出齒られ屋の景氣

一昨夜に於ける新町自然主義舍へ繰り出したる人員は百四名にて費消高五百九圓四十八錢二厘なりと云

●三越呉服店の賣出し

本町二丁目なる三越呉服店にては東京の本店に做ひ昨日より見切り物及び端しぎれ寄せぎれ等を賣り出したるが店前は山の如き顧客にて殆んど身動きもならず爲めに巡査數名出張し混雜を制せり賣上高五千餘圓顧客千五百餘人

●天氣豫報 (自十一日午後六時 至十二日午後六時)

北又は西の風晴

十一日午前六時各地氣象概況

今朝高氣壓は黃海に發展し北又は西の風吹き釜山は曇天なれ共其他は一般に快晴なり

제108호　1908. 11. 12.

大阪勉強十商家

◉金五百圓運ためし



日本勸業銀行ニ於テ來ル十一月初旬抽籤ノにるを號十二月初旬抽籤ノへら號四十二年一月初旬抽籤ノほとぬ號一月初旬抽籤ノり號以上金五百圓金壹百圓以下多數割增金附貯蓄債券壹種ニ付僅カ金拾參錢ニテ賣出申候

準備債券ニ限アリ購客ニ限ナシ賣切ノ恐アルヲ以テ大至急多數御申込アリタシ●債券番號ハ一々飛番連番等故抽籤ノ興味非常ニ多ク●御買取多數ナレバ必當籤保證ス●御註文ノ際ハ債券番號御記入ノ上振替貯金口座ニテ拂込ハ安全ニ着金●加へ振替貯金口座ニテ拂込ニナレバ安全ニ着金ス●郵券代用ハ壹割增貳錢以下ノ切手ニ限ル●御都合上金ス引換小包便ニテモ發ス●御照會ハ總テ往復端書ノ事●振替貯金口座拂込票又ハ共同貯金預入票御入用ノ際ハ御申越次第無料ニテ迅速發送ス

勸業貯蓄債券各號共特別高價ニ買入申候

●當券即時爲替書留ニテ迅速御送金申上候

大阪市東區石町貳丁目

日本共通會社代理店

振替貯金口座第壹參七貳六番

共同貯金へは一壹四壹參九番

●第二版發賣●

大阪胃腸病院長ドクトル湯川玄洋先生談話

胃腸之栞

洋綴金文字入美裝正價金壹圓拾錢郵税拾錢

●通俗的衞生法幷ニ攝養法●食物撰擇法調理法等ニシテ其記述ハ滑稽諧謔ヲ加ヘタル流麗ニシテ平易ナル文字ナリ即チ興味ト實益ヲ兼チタル良書ナリ

本書說ク處ハ學理實驗ヲ基礎トセル

發賣書店
東京京橋區尾張町二丁目　東海堂
大阪北區常安橋北詰壹丁目　角屋書店
大阪東區道修町　吉岡寶文館
東京日本橋本石町三丁目　寶文館支店

活字製造

各種活字　改良母型
印刷機械　附屬品類

大阪市南區東新瓦屋町二三六（空堀善安筋北）



デックス專賣調帶

一デックス調帶は余輩を通して同一の厚みに製造せしものにて他の調帶の如く厚薄之の不同及び繼目の差異等無之候ため斯る部分より不時に切れ候やうの憂ひは決して無御座候

一デックス調帶は其厚みに不同の箇所なきため機械の運轉を適度に保ち尙ほ音響を避け且つ滑り脫け或は伸びる等の不都合は斷じて之無候

一デックス調帶は空氣の乾濕に影響せざるを以て地上と水中とを問はずいづれにても御使用相成候

一デックス調帶は其の價格他の上等皮革に比し遙かに廉價にして而も耐久の度は優に二倍以上の期間を保ち得られ候

一デックス調帶は滑車に密接する特質あるを以て他の調帶の如く機械の運轉力を浪費するが如きことは決して御座なく候

英國デックス社日本代理店

京都市上京區三條通小橋西へ入
大澤商會
電話長二五五番　電話一九九一番

大阪市東區道修町四丁目十六番地
大阪支店
電話長東二五五三番

神戸市三宮町三丁目九十六番地ノ一
神戸支店
電話長八一一番

東京市京橋區南鍋町二丁目五番地
東京支店
電話新橋西二三番

●●●近來粗製の模倣品有之候
●●●見本及定價表は御一報次第呈可仕候

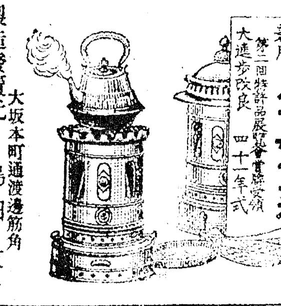
石油使用文明厨爐（無烟無臭）

便利重寶

手間少き人自炊者に最適

マッチ一本にて點火すれば直に强熱し無烟無臭持運輕便座敷二階でも用ひられ飯湯魚肉を煮沸する等即座に辨ず平素の御便利は勿論來客又は不時の御用に必ず一具備へ置れたし（詳細書送呈）

第二回特許品展覽會賞牌受領
改良 一名下女イラズ
大進歩改良　四十一年式
販賣 兼用



製造發賣元
大坂本町通渡邊筋角
島田支店
（電話東一三三六番）
振替口座

特約店
京城本町通り六丁目
木林文明堂

其他各市に特約店あり最寄にて御購求を乞

メリヤス、タオル製造販賣

鶴岡商店

大阪市本町心齋橋西南角

電話長東二〇八一番電信略語〇キチ

標商登録

大能湯 せんき特効薬

一服にて効能顯はる

疝氣疝癪とは腰攣痛、腹筋張、睾丸の筋膨大し、或は痛み逆上頭痛、胸痛、四肢攣痛、痛疾、寸白、消化不良、大便秘結、其他神經痛及リウマチス等凡て疝氣疝癪の諸症は書盡し難く概略を表すなり右の内の一種にても病症ある人は早く此良劑を服用すれば直ちに全快すること神効無双の良劑なり余は服藥して其効能顯著なるを知り給へ

藥價　一日分　七錢　三日分　廿錢　七日分　四十二錢

本舖　大阪市京町堀通四丁目　灰谷止本堂

電話西三四四番
振替口座九八五七番

●其他到る處の藥店にあり若し無くば本舖へ

大勉强廣告



麻ロープ　シデ紐

多少に拘不御注文被上度目下大賣出し特別廉價に相働申候御照會次第直に御返事申上候

大阪市西區靱中通一丁目ノ電車道
製造販賣元　丸山商店
工場大阪府下東成郡田邊村大字北田邊

世紀之優等香油

エキストラ菊花油



このエキストラ菊花油は從來の香油の如く礦物性を原料として製したる西洋風の品と異り日本人の如き黑髮に最も有効なる植物性アルモンドオイル（一ザン杏より採取したる油）を原料として精製したる香油にして毛髮の生育を助け房々と黑ら長く艶々しく惡臭を去り襟アカ附着せずいかにチヾル髮にても本油を御使用あらば常に洗髮の如くさら〳〵として菊花油特有の馥郁たる芳香を永く保ちます

エキストラ菊花油は男子間にも好評嘖々たり
エキストラ菊花油は靑色と黃色の二種あり
エキストラ菊花油は大瓶九十錢中瓶六十錢小瓶三十錢
エキストラ菊花油は全國油商化粧品小間物商店に販賣せり

外部の花飾を省き特に中味に注意したるは本油の特色なり

發賣元
大阪市南區順慶町一丁目
寺西製油所
長電東二五一三番

名譽金牌受領 花の露石鹸

大塚商會製石鹸

最近の學理に基き實驗こ獨特の技術に因り舶來品に優る各種石鹸製造仕候間多少に不拘御用命被下度奉希上候

海外發賣元
臺灣臺北本町
韓國仁川本町
同釜山南濱町
同平壤大和町
淸國大連吉野町
同安東縣新市街
同奉天
小樽港町

大塚商會臺北支店
大塚仁川支店
大塚釜山出張所
大塚平壤出張所
大塚大連出張所
大塚安東縣出張所
大塚奉天出張所
大塚小樽出張所

製造發賣元
大塚商會石鹸部
大阪市北區上福島北一丁目
（電話西一九五七番）

根社提勃